

枚方市広報アドバイザーが従事した職務の遂行に係る情報

議 題	人口誘導・定住促進における市のPR等について その他
日 時	平成30年7月25日(水) 14時00分～17時00分
場 所	別館4階 特別会議室
出席者	伊賀広報アドバイザー 市長公室参事 ひらかた魅力推進課職員1人 広報課長及び同課職員2人
主な意見	<p>&lt;人口誘導・定住促進における市のPR等について&gt;  <b>*シティプロモーション推進業務委託の進捗状況について</b>          様々な事業者から幅広い提案をもらえたことは良かったが、9事業者のヒアリングは多かったように思う。          審査員は、自分の思いや考えを述べるのではなく、提案に関する質問や内容を引き出すための質問をすべきだと感じた。</p> <p><b>*枚方市PR冊子「のぞき見、枚方。」の発行について</b>          市外向けの内容となっているので、ターゲットの手元に届くよう配布先を検討すべき。</p> <p>&lt;その他&gt;  <b>*マイカたちやいます、分布図の調査状況について</b>          調査結果を公表する分布図の作成と、それをグッズにすることは別で考えたほうがよい。調査員にプレゼントするものが分布図グッズである必要はないと思う。          缶バッジがほしい人と動画を投稿したい人のモチベーションはそもそも違う。動画投稿のモチベーションとなることは別に考えたほうがよい。公表方法などに動画を投稿してみたいと思えるような工夫を。</p> <p><b>*災害時における報道対応・広報活動について</b>          災害時は、待っていても情報集約できない。本部や現地など、一番情報が集まる場所に、自ら出向いて情報を集約することが重要。          そこで集まってくる情報をホワイトボードに書いていくなど、誰もが見える・わかるように「情報の見える化」をすることも重要。          災害時に平常時の人間で回してこなそうとすると組織が疲弊する。退職職員など、応援要員の受け入れ体制を構築すべき。また、長時間勤務や宿泊勤務する職員のための食事・入浴・宿泊なども、個人任せにせず、組織として対応をしたほうが良い。</p>
事務局	市長公室 広報課